



# 平成29年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年3月31日

上場会社名 (株)クラウディア

上場取引所 東

コード番号 3607 URL <http://www.kuraudia.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 倉 正治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 鳴尾 好司

TEL 075-315-2345

四半期報告書提出予定日 平成29年4月14日

配当支払開始予定日

平成29年5月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年8月期第2四半期の連結業績(平成28年9月1日～平成29年2月28日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第2四半期	6,415	4.1	334	91.4	373	89.0	526	
28年8月期第2四半期	6,692	7.4	174		197	338.7	10	

(注) 包括利益 29年8月期第2四半期 579百万円 ( %) 28年8月期第2四半期 29百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第2四半期	60.71	
28年8月期第2四半期	1.21	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年8月期第2四半期	12,248	5,841	47.7	674.03
28年8月期	12,260	5,348	43.6	617.13

(参考) 自己資本 29年8月期第2四半期 5,841百万円 28年8月期 5,348百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期		5.00		10.00	15.00
29年8月期		8.00			
29年8月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年8月期期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 記念配当 5円00銭

## 3. 平成29年8月期の連結業績予想(平成28年9月1日～平成29年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	12,980	0.3	410	31.7	420	21.1	550	63.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年8月期2Q	9,689,200 株	28年8月期	9,689,200 株
期末自己株式数	29年8月期2Q	1,022,902 株	28年8月期	1,022,902 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年8月期2Q	8,666,298 株	28年8月期2Q	8,666,298 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料については、平成29年3月31日に当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府による経済政策及び日本銀行の金融緩和策の継続により、一部の企業業績や雇用情勢の改善が見られたものの、中国をはじめとする新興国の景気減速、米国の新大統領就任や為替の変動によるリスクなど、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当企業グループは、総合ブライダル「メーカー」としての位置づけを定着させるべく、婚礼衣裳のメーカー機能を軸としてブライダル市場のシェアアップに向け引き続き注力しており、当第2四半期連結累計期間においては新たに次の事業展開を行っております。

平成28年12月には「Scena D' uno (シェーナ・ドゥーノ)」の15周年を記念した新作ドレスコレクションを発表いたしました。また、同月には雑誌「LEON」とタイアップしたメンズブランド「KURAUDIA UOMO (クラウディア ウオモ)」を発表いたしました。

平成29年2月には蜷川実花さんのファッションブランド「M / mika ninagawa (エム / ミカ ニナガワ)」とのコラボレーションドレスの新作を発表いたしました。

当企業グループは単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間における事業部門別売上高の状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

以下の売上高の数値につきましては、事業部門内及び事業部門間の取引消去後となっております。

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	増減	増減率 (%)
ホールセール事業 売上高	1,819	1,697	△122	△6.7
製・商品売上高	1,296	1,207	△88	△6.8
レンタル収入等	522	489	△33	△6.4
ショップ事業 売上高	3,385	3,405	20	0.6
衣裳等取扱収入	2,053	2,136	83	4.1
製・商品売上高	430	434	4	1.0
レンタル収入等	1,622	1,702	79	4.9
リゾート挙式売上高	1,332	1,269	△63	△4.7
式場事業 売上高	1,488	1,312	△175	△11.8
連結売上高	6,692	6,415	△277	△4.1

ホールセール事業については、製・商品売上高は受注高減少の影響により引き続き苦戦し、前年同四半期に比べ88百万円減少の1,207百万円となりました。レンタル収入等につきましては、前年同四半期に比べ33百万円減少の489百万円となりました。この結果、ホールセール事業の売上高は前年同四半期に比べ122百万円減少し1,697百万円となりました。

ショップ事業については、引き続き国内インショップ店舗の既存店取扱件数が減少傾向にあるものの、写真事業が順調に推移し、また、平成28年1月より開始した美容事業が通期で寄与した結果、衣裳等取扱収入は前年同四半期に比べ83百万円増加の2,136百万円となりました。リゾート挙式事業については取扱件数、取扱高ともに減少し、リゾート挙式売上高は前年同四半期に比べ63百万円減少の1,269百万円となりました。この結果、ショップ事業の売上高は前年同四半期に比べ20百万円増加し3,405百万円となりました。

式場事業においては、「ル・センティフォーリア 大阪」(大阪市北区)が施行組数を伸ばしましたが、同式場以外の式場について施行組数が減少したことから、施行組数の合計は前年同四半期に比べ65組減少の600組となりました。この結果、式場事業の売上高は前年同四半期に比べ175百万円減少し1,312百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,415百万円(前年同四半期比4.1%減)、営業利益は334百万円(同91.4%増)、経常利益は373百万円(同89.0%増)となりました。

なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は、当第2四半期連結累計期間において法人税等調整額(益)247百万円を計上したことにより、526百万円(前年同四半期は10百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ102百万円減少し、3,090百万円となりました。これは主に、現金及び預金81百万円の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ90百万円増加し、9,158百万円となりました。これは主に、繰延税金資産280百万円の増加、有形固定資産71百万円の減少によるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ11百万円減少し、12,248百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ155百万円増加し、3,371百万円となりました。これは主に、短期借入金556百万円の増加、1年内返済予定の長期借入金96百万円、未払法人税等158百万円の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ660百万円減少し、3,035百万円となりました。これは主に、長期借入金526百万円、役員退職慰労引当金149百万円の減少によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ504百万円減少し、6,407百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ493百万円増加し、5,841百万円となりました。これは主に、利益剰余金439百万円、為替換算調整勘定51百万円の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は47.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが106百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが30百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが167百万円の支出となり、この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）期末残高は、1,145百万円（前年同四半期は1,314百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は106百万円（前年同四半期比80.9%減）となりました。これは主に、減価償却費191百万円、たな卸資産の減少38百万円の収入があった一方で、役員退職慰労引当金の減少149百万円、売上債権の増加110百万円、法人税等の支払額227百万円の支出によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は30百万円（前年同四半期は162百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得63百万円の支出があった一方で、有価証券の償還10百万円、建設協力金の回収18百万円の収入によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は167百万円（前年同四半期は485百万円の使用）となりました。これは、長期借入金の返済622百万円、配当金の支払86百万円の支出があった一方で、短期借入れによる556百万円の収入によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成28年9月30日発表の業績予想を変更しておりません。

なお、当企業グループにおいては、事業の性質上、第1四半期（9月から11月）及び第3四半期（3月から5月）の婚礼シーズン時期に、売上高、利益が偏重する傾向があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,227,089	1,145,882
受取手形及び売掛金	893,217	976,665
商品及び製品	186,419	156,319
仕掛品	109,701	106,501
原材料	197,206	211,099
貯蔵品	95,765	87,651
繰延税金資産	190,509	189,705
その他	303,893	228,213
貸倒引当金	△10,974	△11,791
流動資産合計	3,192,827	3,090,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,215,370	6,338,383
減価償却累計額	△3,515,357	△3,706,838
建物及び構築物(純額)	2,700,013	2,631,545
機械装置及び運搬具	426,981	452,681
減価償却累計額	△331,244	△346,291
機械装置及び運搬具(純額)	95,736	106,390
工具、器具及び備品	801,508	815,999
減価償却累計額	△705,490	△733,970
工具、器具及び備品(純額)	96,018	82,028
レンタル衣裳	514,646	464,104
減価償却累計額	△290,394	△254,591
レンタル衣裳(純額)	224,251	209,512
土地	2,548,339	2,548,339
建設仮勘定	9,294	24,679
有形固定資産合計	5,673,654	5,602,497
無形固定資産		
借地権	13,523	14,787
のれん	16,941	—
その他	7,756	7,756
無形固定資産合計	38,220	22,543
投資その他の資産		
投資有価証券	16,728	19,820
保険積立金	293,157	286,519
差入保証金	2,614,274	2,543,833
繰延税金資産	9,930	290,710
その他	483,400	448,095
貸倒引当金	△61,540	△55,468
投資その他の資産合計	3,355,952	3,533,512
固定資産合計	9,067,828	9,158,553
資産合計	12,260,655	12,248,801

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	302,808	293,978
短期借入金	140,000	696,000
1年内返済予定の長期借入金	1,218,873	1,122,241
リース債務	29,160	29,695
未払法人税等	240,190	81,700
賞与引当金	140,160	152,822
役員賞与引当金	—	6,000
繰延税金負債	2,218	—
その他	1,142,733	989,349
流動負債合計	3,216,145	3,371,787
固定負債		
長期借入金	2,733,333	2,207,217
リース債務	87,915	74,212
役員退職慰労引当金	535,761	385,840
繰延税金負債	30,230	65,949
資産除去債務	232,476	233,786
その他	76,570	68,642
固定負債合計	3,696,288	3,035,648
負債合計	6,912,433	6,407,435
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,071,590	1,071,590
資本剰余金	1,228,876	1,228,876
利益剰余金	3,462,449	3,901,918
自己株式	△623,327	△623,327
株主資本合計	5,139,588	5,579,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,893	3,584
為替換算調整勘定	206,739	258,724
その他の包括利益累計額合計	208,632	262,308
純資産合計	5,348,221	5,841,366
負債純資産合計	12,260,655	12,248,801



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
売上高	6,692,728	6,415,341
売上原価	2,341,851	2,008,188
売上総利益	4,350,877	4,407,153
販売費及び一般管理費	4,176,185	4,072,712
営業利益	174,691	334,441
営業外収益		
受取利息	6,050	5,751
受取配当金	45	195
受取賃貸料	9,155	6,625
受取手数料	11,249	8,715
為替差益	426	16,533
助成金収入	783	1,723
その他	11,574	8,141
営業外収益合計	39,285	47,686
営業外費用		
支払利息	12,995	7,811
その他	3,488	991
営業外費用合計	16,484	8,803
経常利益	197,492	373,324
特別利益		
固定資産売却益	676	587
保険解約返戻金	—	10,218
特別利益合計	676	10,806
特別損失		
固定資産売却損	5,100	—
固定資産除却損	1,835	304
保険解約損	—	53
減損損失	14,880	—
特別損失合計	21,815	357
税金等調整前四半期純利益	176,353	383,773
法人税、住民税及び事業税	160,530	104,792
法人税等調整額	5,342	△247,150
法人税等合計	165,872	△142,357
四半期純利益	10,481	526,131
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,481	526,131

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
四半期純利益	10,481	526,131
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△289	1,690
為替換算調整勘定	△40,000	51,985
その他の包括利益合計	△40,289	53,676
四半期包括利益	△29,808	579,807
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,808	579,807
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	176,353	383,773
減価償却費	316,356	191,377
減損損失	14,880	—
のれん償却額	20,713	16,941
貸倒引当金の増減額(△は減少)	311	6,951
賞与引当金の増減額(△は減少)	41,214	11,942
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	6,000
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,255	△149,920
受取利息及び受取配当金	△6,096	△5,947
支払利息	12,995	7,811
固定資産売却損益(△は益)	4,423	△587
固定資産除却損	1,835	304
売上債権の増減額(△は増加)	△91,834	△110,296
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,399	38,902
レンタル衣裳の増減額(△は増加)	33,850	15,165
差入保証金の増減額(△は増加)	△122,159	34,992
仕入債務の増減額(△は減少)	△47,789	△22,269
未払消費税等の増減額(△は減少)	54,882	△78,923
その他	222,766	△4,867
小計	644,358	341,350
利息及び配当金の受取額	983	1,121
利息の支払額	△13,065	△7,767
法人税等の支払額	△74,256	△227,919
営業活動によるキャッシュ・フロー	558,019	106,784
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,460	△4,876
定期預金の払戻による収入	78,565	9,688
有価証券の償還による収入	—	10,000
投資有価証券の取得による支出	△686	△726
出資金の払込による支出	—	△3,987
有形固定資産の取得による支出	△238,798	△63,013
有形固定資産の売却による収入	8,000	3,650
有形固定資産の除却による支出	△15,438	—
貸付金の回収による収入	400	300
建設協力金の回収による収入	18,120	18,120
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△10,175	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△162,472	△30,845
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	310,001	556,000
長期借入金の返済による支出	△639,553	△622,748
社債の償還による支出	△97,500	—
リース債務の返済による支出	△14,887	△14,597
配当金の支払額	△43,074	△86,459
財務活動によるキャッシュ・フロー	△485,014	△167,804
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,867	15,306
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△94,335	△76,558
現金及び現金同等物の期首残高	1,409,046	1,222,441
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,314,711	1,145,882

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当企業グループは単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、平成29年1月10日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社クラウドディアブライダルサービスを吸収合併することを決議し、同日付で合併契約を締結いたしました。この契約に基づき、当社は平成29年3月1日付で株式会社クラウドディアブライダルサービスを吸収合併いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合企業

名称 株式会社クラウドディア(当社)

事業の内容 婚礼衣裳等の企画・製造・販売・レンタルに関する事業など

被結合企業

名称 株式会社クラウドディアブライダルサービス(当社の100%子会社)

事業の内容 結婚式場の運営

(2) 企業結合日

平成29年3月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を吸収合併存続会社、株式会社クラウドディアブライダルサービスを吸収合併消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

株式会社クラウドディア

(5) その他取引の概要に関する事項

株式会社クラウドディアブライダルサービス(以下「KBS」といいます。)は、当社が平成22年8月に設立いたしました当社100%出資の連結子会社であり、同年9月に実施いたしました当社から同社への結婚式場の運営に関する事業(以下「式場事業」といいます。)の譲渡以降、当社の主要連結子会社として式場事業の運営を行ってまいりました。

その後、平成28年9月1日付にて、当企業グループのサービス事業領域の事業部門(ショップ事業・式場事業)を統合・一社化し、経営の効率化を図ることを目的として、KBSが営む式場事業(建物等一部の不動産に関する資産・負債及び契約上の地位を除く。)を、同じく当社100%出資の連結子会社である株式会社クラウドディアコスチュームサービスに吸収分割により承継いたしました。

上記の経緯から、KBSについては、当該吸収分割の分割会社としての事務手続きを進めるとともに、当企業グループにおける事業会社としての活用方法等を検討してまいりましたが、当社が平成29年9月1日付(予定)で持株会社に移行することから、同社が所有する不動産を当社に集約することにより当企業グループの更なる運営の効率化を図ることを目的に、同社を吸収合併いたしました。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引として処理をしております。